

Patch for Debian



特記事項

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[特記事項 \(##### 13\)](#)に記載されている情報をお読みください。

本書に関する注意事項

本書は、BigFix バージョン 9.5 と、新しい版で明記されていない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

目次

特記事項.....	2
本書に関する注意事項.....	3
第 1 章. 概説.....	1
サポートされるプラットフォームおよび更新.....	1
サイトのサブスクリプション.....	1
第 2 章. BigFix Patch for Debian の使用.....	3
Fixlet を使用したパッチの適用.....	3
置き換え.....	6
アクション・ロギング.....	6
付録 A. サポート.....	9
付録 B. よくある質問.....	10
特記事項.....	13

第 1 章. 概説

BigFix Patch for Debian は、單一コンソールからすべての Debian エンドポイントにパッチを適用して管理するための、統合されたリアルタイムの可視性と実行性を備えています。これによって、ご使用の Debian クライアントを常に最新のパッケージに対応させることができます。

BigFix コンソールのオペレーターは、キーを数回押すだけで、関係するすべてのコンピューターにパッチを適用し、ネットワーク全体の適用の進行状況を視覚化することができます。BigFix クライアントは、オペレーティング・システムのバージョン、プロセッサー、および既存のインストール済みパッケージを調べて、パッチの必要なタイミングと要否を判別します。

新しいセキュリティー更新がサポート対象として使用可能になると、BigFix により Fixlet がリリースされます。この Fixlet により、エンタープライズ内のコンピューターのうち、当該の更新が必要なものをすべて識別し、更新を適用することができます。Fixlet は **Debian 7 向けパッチ・サイト** から入手できます。

Fixlet を使用することにより、大量の更新とパッチを比較的容易に管理し、対象を詳細に絞り込んだ自動適用を希望のスケジュールで実行できます。ネットワーク帯域幅を最適化するために大容量のダウンロードを段階的に実行でき、インベントリーまたは監査の制御のために、適用プロセス全体をモニター、グラフ化、および記録できます。

サポートされるプラットフォームおよび更新

BigFix は、Debian 7 プラットフォーム (i386 および amd64) の Debian セキュリティー更新をサポートしています。

■ 注: 現在使用可能なパッチ・コンテンツは、BigFix バージョン 9.2 向けのみです。

サイトのサブスクリプション

サイトとは、ユーザー、HCL、またはベンダーにより内部的に作成される Fixlet メッセージの集合です。

実装環境内のシステムにパッチを適用するために、Debian 7 向けパッチ・サイトにサブスクライブして Fixlet メッセージにアクセスします。

サイトのサブスクリプションを追加するには、ベンダーまたは HCL からマストヘッド・ファイル入手するか、または「ライセンスの概要」ダッシュボードを使用します。Fixlet サイトへのサブスクライブ方法について詳しくは、「BigFix #####」を参照してください。サイトについて詳しくは、「BigFix#####」を参照してください。

利用可能なサイトを収集した後で、実装環境に適用可能なものに応じて、以下のタスクを実行する必要があります。

タスク ID: 1 Debian のダウンロード・ホワイトリストのセットアップ

このタスクは Windows サーバーに適用可能です。

タスク ID: 2 Ubuntu のダウンロード・ホワイトリストのセットアップ (Linux サーバー)

このタスクは Linux サーバーに適用可能です。

このタスクを実行しないと、以下のエラーが発生する可能性があります。##### URL #####
#####

Debian はパッケージの取り出し中に動的ダウンロードを使用します。セキュリティーの手段として、サーバーはホワイトリスト・ファイルのパターンに一致する URL を持つ動的ダウンロード要求以外の要求をすべてブロックします。エンドポイントと BigFix リレーの両方がサブスクライブされていることを確認してください。

第 2 章. BigFix Patch for Debian の使用

Debian セキュリティー更新アナンスは、E メール・リスト、RSS フィード、および Debian 公式 web サイトから入手できます。BigFix は、「[Debian 7 向けパッチ](#)」サイトを通じて、コンソールから Debian セキュリティー更新を管理するのに役立つ Fixlet コンテンツを提供します。

Fixlet を使用したパッチの適用

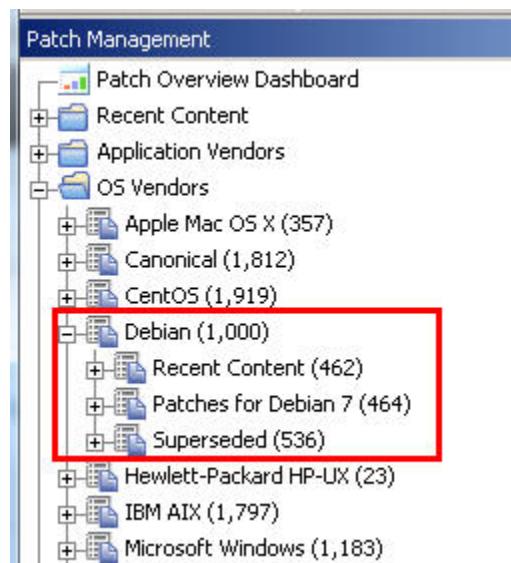
Debian パッケージをデプロイメント環境に適用するには、「[Debian 7 向けパッチ](#)」サイトにある Fixlet を使用します。

ダウンロード・ホワイトリストを設定します。デプロイメント環境に応じて、使用可能なタスクが異なります。詳しくは、『[サイトのサブスクリプション \(##### 1\)](#)』を参照してください。

パッケージで新しいセキュリティー・バグが検出されると、Debian を管理する開発者と上流の作成者は通常、バグを数日または数時間以内に修正します。バグが修正されると、[http://security.debian.org \(##### \)](http://security.debian.org (#####)) に新しいパッケージが提供されます。

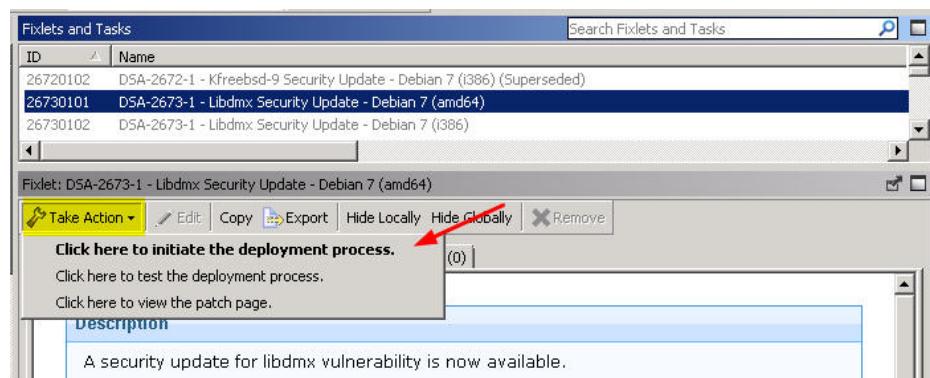
1. パッチ管理ドメインから、「OS ベンダー」 > 「Debian」 をクリックし、ドメイン・ノードを使用してパッチ・コンテンツに移動します。

図 1. 「パッチ管理」ナビゲーション・ツリー



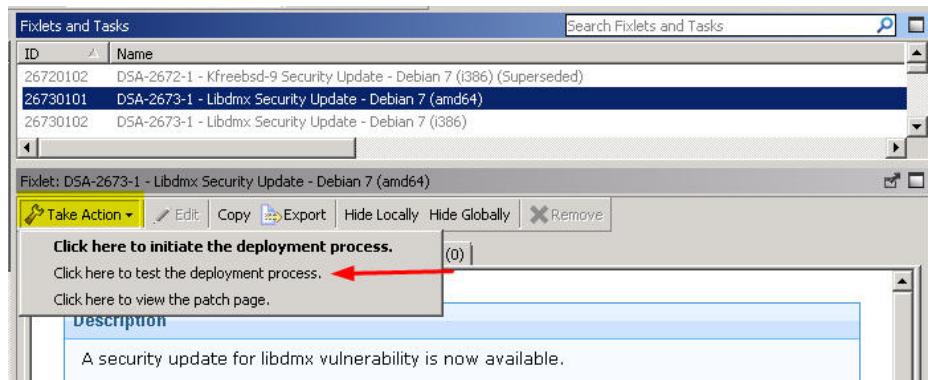
2. リスト・パネルに表示されたコンテンツの中から、適用する Fixlet を選択します。作業域で Fixlet が開きます。
3. Fixlet の詳細を確認するには、ウィンドウの上部にあるタブをクリックします。
4. 「アクションの実行」をクリックして、Fixlet を適用します。
 - ・デプロイメント・プロセスを開始できます。

図 2. デプロイメント・プロセスを開始するためのアクションの実行



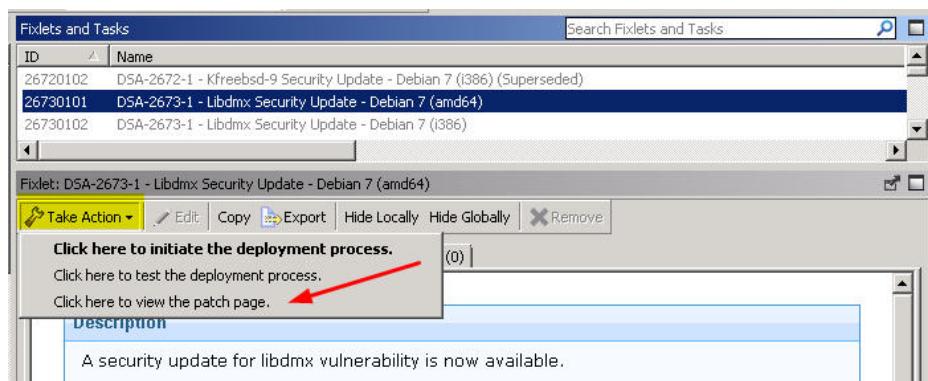
- ・パッチを適用する前にテスト実行を適用できます。「**適用の結果**」分析を確認して、依存関係が正常に解決したかどうか、およびインストールが成功したかどうかを判断します。

図 3. テストを適用するためのアクションの実行



- ・特定の Fixlet のセキュリティー情報を表示できます。「**こちらをクリックして、パッチ・ページを表示**」アクションを選択して、パッチ・ページを表示します。

図 4. パッチ・ページを表示するためのアクションの実行



代わりに、「**アクション**」ボックス内で該当するリンクをクリックすることもできます。

5. 「アクションの実行」ダイアログでは、追加のパラメーターを設定することができます。「アクションの実行」ダイアログを使用したパラメーターの設定について詳しくは、『BigFix #####』を参照してください。
6. 「OK」をクリックします。

置き換え

置き換えについて詳しくは、「Windows 以外での置き換え (#####)」を参照してください。

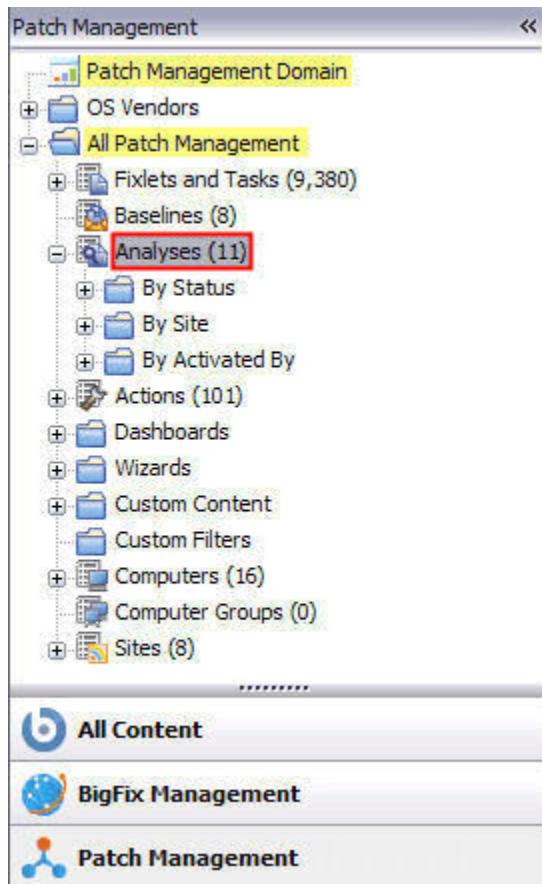
アクション・ロギング

アクションが成功したかどうかをエンドポイントのログ・ファイルを調べて確認するには、「エンドポイントの依存解決 - 適用結果」分析を使用します。パッチの適用前にテスト実行を適用することで、依存関係が解決されたかどうかを調べることもできます。

アクションが成功した場合、結果はエンドポイント上のログ・ファイルに書き込まれます。アクションの結果は、「エンドポイントの依存解決 - 適用結果」分析をアクティブにすると表示できます。

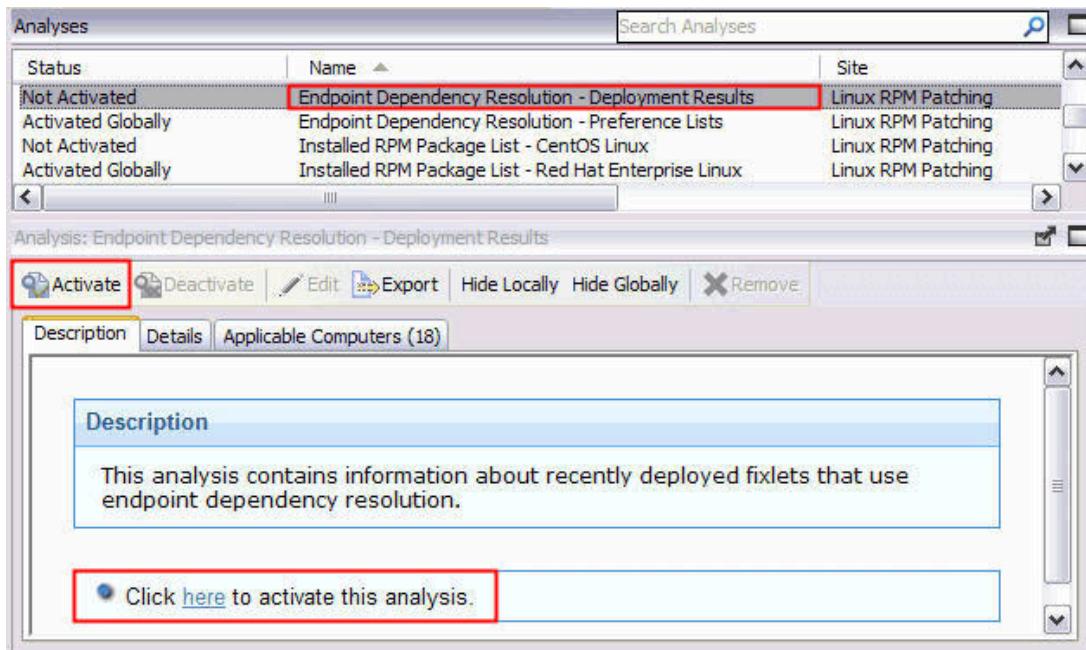
分析をアクティブにするには、「パッチ管理ドメイン」をクリックします。ナビゲーション・ツリーから、「すべてのパッチ管理 (All Patch Management)」 > 「分析」をクリックします。

図 5. ナビゲーション・ツリーからの「分析」の選択



右側にある「分析」リスト・パネルから「エンドポイントの依存解決 - 適用結果」をクリックします。「アクティブ化」をクリックするか、「アクション」ボックス内で分析をアクティブにするリンクをクリックします。

図 6. 「エンドポイントの依存解決 - 適用結果」分析のアクティブ化



分析をアクティブ化すると表示される「分析」ウィンドウで、「結果」タブをクリックします。

エンドポイントのプロパティーを確認するときには、そのシステム上の適用に関する最新情報を表示できます。このデータを表示するには、「すべてのコンテンツ」ドメインに移動し、「コンピューター」ノードを選択します。調べるコンピューターを作業域で選択し、「適用の結果」セクションまでスクロールダウンします。

Debian パッチ Fixlet を実行する場合、パッチの適用前にテスト実行を適用することもできます。「エンドポイントの依存解決 - 適用結果」分析を表示して、依存関係が解決されるかどうか、およびインストールが成功するかどうかを判断できます。

「エンドポイントの依存解決 - 適用結果の分析の報告件数」と呼ばれるタスクを実行することで、出力の件数を制限できます。このタスクにアクセスするには、ナビゲーション・ツリーから「すべてのパッチ管理 (All Patch Management)」 > 「分析」をクリックします。デフォルトの分析の報告件数は、100 エントリーです。

付録 A. サポート

この製品について詳しくは、以下のリソースを参照してください。

- [Knowledge Center \(####\)](#)
- [BigFix サポート・センター \(####\)](#)
- [BigFix サポート・ポータル \(####\)](#)
- [BigFix Developer \(####\)](#)
- [BigFix Wiki \(####\)](#)
- [HCL BigFix フォーラム \(####\)](#)

付録 B. よくある質問

以下の質問と回答を参考にして、BigFix Patch for Debian の理解を深めます。

Debian Fixlet コンテンツ用の BigFix のバージョンはどれですか？

現在の Fixlet コンテンツは、BigFix バージョン 9.2 でのみ使用できます。

パッケージを検索してダウンロードできる場所はどこですか？

現在のバージョンのパッケージは、Debian web サイト ([https://www.debian.org/security/ #####](https://www.debian.org/security/)) から入手してダウンロードできますが、前のバージョンは Debian のスナップショット ([http://snapshot.debian.org/ #####](http://snapshot.debian.org/)) にあります。 [https://www.debian.org/distrib/packages/ #####](https://www.debian.org/distrib/packages/) でパッケージを検索することもできます。

知っておくべきその他の Debian リソースはありますか？

以下に、参考となるリソースをいくつか示します。

- Debian web サイト: [https://www.debian.org/security/ #####](https://www.debian.org/security/)
- メール・リスト: [https://lists.debian.org/debian-security-announce/ #####](https://lists.debian.org/debian-security-announce/)
- Debian スナップショット: [http://snapshot.debian.org/ #####](http://snapshot.debian.org/)
- 検索パッケージ: <https://www.debian.org/distrib/packages/ #####>
- Debian セキュリティー・リポジトリ・ホスト: [http://security.debian.org/ #####](http://security.debian.org/)
- セキュリティー・バグ・トラッカー: [https://security-tracker.debian.org/tracker/ #####](https://security-tracker.debian.org/tracker/)

パッチのインストールに失敗した場合は、どうすればよいでしょう。

正しいコンピューターにパッチを適用したことを確認してください。また、以下のログも確認してください。

- `/var/opt/BESClient/__BESData/__Global/Logs/<YYYYMMDD>.log`
- `/var/opt/BESClient/EDRDeployData/EDR_DeploymentResults.txt`

デバッグのために、`-n` 待機後にアクション・スクリプトの最後の行に `/bin/bash {parameter " cwd" }/InstallPackages.sh` を追加できます。

`-n` フラグは、以下のファイルのクリーンアップを無効にします。

- `/var/opt/BESClient/EDRDeployData/EDR_RepoData.txt`
- `/var/opt/BESClient/EDRDeployData/EDR_PackageList.txt`
- `/var/opt/BESClient/EDRDeployData/EDR_ResolverOutput.log`
- `/var/opt/BESClient/EDRDeployData/EDR_ResolverError.log`
- `/var/opt/BESClient/__BESData/Patches for Debian 7/apt`

これらの追加ファイルは、パッチ適用のコンテキスト情報を提供し、障害の調査に役立ちます。

置き換えられるパッチとは何ですか？

置き換えられる Fixlet とは、古いパッケージが含まれた Fixlet のことです。Fixlet が置き換えられると、新しいバージョンのパッケージが含まれた新規 Fixlet が存在するようになります。新規 Fixlet の ID は、置き換えられた Fixlet の説明で確認できます。

Debian パッケージがアップグレード可能かどうかはどのように確認できますか？

最初に、Debian パッケージがアップグレード可能であるかどうかを判別する rpm パッケージである、`apt-show-versions` をインストールする必要があります。

1. `apt-show-versions` をインストールするには、`apt-get install apt-show-versions` と入力します。
2. アップグレード可能なパッケージのみのリストを取得するには、`apt-show-versions -u | less` と入力します。以下のようにして、`grep` を使用することもできます。`apt-show-versions -u | grep "apache"`

特定のパッケージをアップグレードするにはどうすればよいですか？

パッケージ名を指定する必要があります。たとえば、`apache-perl` パッケージをアップグレードする場合は、次のコマンドを入力します。`apt-get install apache-perl`. このコマンドは、システム全体ではなく、単一のパッケージのみをアップグレードする場合に便利です。

クライアント・ログに、Fixlet が正常に完了しないプリフェッチ・プラグイン・エラーが表示されています。エラーの原因は何でしょうか。どうすればよいでしょう。

エンドポイントで実行されていた ActionScript がブラックリストに登録され、プリフェッチ・プラグインの問題が発生した可能性があります。

この問題を解決するには、BigFix クライアントを再始動してブラックリストをクリアしてください。スクリプトがブラックリストに追加されないようにするには、パッチが依存関係をインストールおよび解決するのに十分な時間で `_BESClient_ActionManager_PrefetchPlugInTimeoutSeconds` クライアント構成設定を設定します。このクライアント設定は、クライアントがスクリプトをブラックリストに登録する前に待機する時間を示します。パッチ・サポート・サイトで使用できる「**プリフェッチ・プラグインのタイムアウトの変更 (Change Timeout for Prefetch Plugins)**」タスクを使用して、この設定を 30 分 (1800 秒) に設定できます。

`_BESClient_ActionManager_PrefetchPlugInTimeoutSeconds` 設定は、エンドポイントおよびインストール中の Fixlet によって異なります。最適な値を求めるには、最も遅いエンドポイントで設定を 3,000 秒などの高い値に設定し、大きな Fixlet を実行して所要時間を確認します。その時間に 2 を乗算した値を使用できます。あるいは、推奨値ではうまくいかない場合は、クライアント設定を 600 秒に設定し、適宜調整していきます。

特記事項

本書は米国で提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 HCL の営業担当員にお尋ねください。本書で HCL 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その HCL 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、HCL の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用できます。ただし、HCL 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

HCL は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel

2 バイト文字セット (DBCS) 情報についてのライセンスに関するお問い合わせは、お住まいの国の HCL Intellectual Property Department に連絡するか、書面にて下記宛先にお送りください。

HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel

HCL TECHNOLOGIES LTD. 本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは默示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。HCL は予告なしに、隨時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において HCL 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この HCL 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

HCL は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対して何ら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム(本プログラムを含む)との間での情報交換、および(ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

HCL 330 Potrero Ave. Sunnyvale, CA 94085 USA Attention: Office of the General Counsel

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用できますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンスプログラムまたはその他のライセンス資料は、HCL 所定のプログラム契約の契約条項、HCL プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、HCL より提供されます。

本書に含まれるパフォーマンスデータは、特定の動作および環境条件下で得られたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。

HCL 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。HCL は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。HCL 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

HCL の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプルプログラムが書かれているオペレーティングプラットフォームのアプリケ

ションプログラミングインターフェースに準拠したアプリケーションプログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、HCL に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布できます。このサンプルプログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。したがって HCL は、これらのサンプルプログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証したりすることはできません。これらのサンプルプログラムは特定物として現存するままの状態で提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。HCL は、お客様の当該サンプルプログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプルプログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。© (お客様の会社名) (西暦年)。このコードの一部は、HCL Ltd. のサンプルプログラムから取られています。

商標

HCL Technologies Ltd.、HCL Technologies Ltd. ロゴ、および hcl.com は、世界の多くの国で登録された HCL Technologies Ltd. の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Oracle やその関連会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の製品名およびサービス名等は、それぞれ HCL または各社の商標である場合があります。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用度

HCL Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製できます。ただし、HCL の明示的な承諾を得ずには、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布(頒布、送信を含む)または表示(上映を含む)したりすることはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示できます。ただし、HCL の明示的な承諾を得ずには、これらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示したりすることはできません。

権限

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が HCL の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、HCL はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

HCL は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは默示の保証責任なしで提供されます。